

甲D第10号証（松本好央陳述書）の添付資料（写真）

1 松本好央さんの4世代9人の家族（こうばるで一番の大家族）



2 松本好央さんの自宅及び鉄工所の外観（右側の建物は4世代9人が暮らす自宅部分，左側の建物は父・昭弘さんが経営する「あきもと鉄工」）



- 3 1982年に長崎県が機動隊を導入して実施した抜き打ちの強制測量に抗議する住民たち（前列右側で抗議の声を張り上げている少年が、当時小学2年生だった松本好央さん）



4 父・昭弘さんと好央さんが働く鉄工所「あきもと鉄工」の外観



5 「あきもと鉄工」の内部の様子①（主に窯業関連の機械や器具の製作をしている。石木ダムができればこの鉄工所もダムの底に沈むことになる）



- 5 「あきもと鉄工」の内部の様子②（主に窯業関連の機械や器具の製作をしている。石木ダムができればこの鉄工所もダムの底に沈むことになる）



- 6 好央さんらが中心となって、小林武史さんやsallyuさんら著名なミュージシャンを集めたコンサートを水没予定地で開催した様子を伝える2016年11月3日付け朝日新聞の記事（記事中には好央さんのコメントも掲載されている）

2016.11.03

川原の未来考える 音楽ライブ

石木ダム予定地の川棚 住民ら開く

県内外から来場者 自然・食も楽しむ

県と佐世保市が川棚町に計画する石木ダム予定地の川原地区で10月30日、音楽プロデューサーの小林武史さんらが賛同した音楽と食のイベント「失われるかもしれない美しい場所」があり、県内外から大勢の若者や家族連れらが訪れた。

小さな集落の川原は、ダムが完成すれば水没する地区。そこを流れる石木川をせき止めて建設される予定の石木ダムについて、来場者に「立会人（ミッドマン）」として未来のあり方を考えてほしいと、ダムに反対する地元の人や支援するアウトラメーカーのパタゴニア日本支社などが企画した。

1982年に計画が持ち上がった石木ダムは、川棚川の治水対策と佐世保市への水道用水の安定供給が建設の目的とされている。是非を巡る意見の対立が長く続き、現在も13世帯の地権者らが反対運動を続ける一方、用地の強制収用にに向けて県が手続を進めている。

イベントでは、稲刈り後の田んぼに設置されたステージに歌手のsallyuさんら複数のバンドが出演。周辺では、収穫したの薪米を使ったたりたんぽや、やきそばなどの住民らによる手作りの屋台も並び、豊かな自然に触れながら来場者はイベントを楽しんでいた。

地元準備委員会メンバーの松本好央さん（41）は「石木ダム問題といえば、新聞やテレビでは反対の人たちがいつも怒っているが、普通に暮らしていることを知ってもらうためにも多くの人に一度足を運んで欲しい」と話した。

波佐見町から家族でやって来た主婦33歳は「水没を求める佐世保市側の考えは理解できるけど、この自然のことを考えると難しい問題」と複雑な様子。熊本市から来た主婦（47）は「このダム問題を知らない人が多いと聞いた。そのことが悲しい」と話した。（奥志堅直）

■ダム賛否、シール投票
佐世保市の市民団体「佐世保女性ネットワーク」は10月29日、石木ダム建設の賛否を市民に意思表示してもらうシール投票を同市市役所本部で実施。1時間行い、「賛成すべきでない」が多数を占めた。事業用地の強制収用の不当性を訴えるのが目的という。川棚町の子どもたちは「以上の結果、建設を止まない市民は多いと思う」と話した。

2016年10月31日付け長崎新聞の記事

2016年(平成28年)10月31日 月曜日

石木ダム予定地に700人

小林武史さんら音楽ライブ

県と佐世保市が東彼川棚町に計画する石木ダムを地元の川原地区で30日、音楽イベントが開かれ、若い世代を中心に約700人（主催者発表）が来場した。

音楽プロデューサーの小林武史さんや反対派を援ける米アウトドア衣料品ブランド「パタゴニア」日本支社の社員、地元を長らくつくる制作委主催。予定地の現状を知り、石木ダム問題に関心を持ってもらうことを目的に開催した。

稲刈り後の田んぼに設置した特設舞台に、小林さんや歌手のsallyuさん、波佐見町の卒業生で組むバンド「POND LOW」の6人が出演。聴衆を魅了した。会場には県外客も多く見られた。出演者のブログで川棚地区を知ったという東京都、ヨガイノストラクター、見城佐知子さん（43）は「地元の人々の意見が一番大事だと思う。まずは東京に戻って周りにこの場所の話をすることから始めたい」と、佐世保市大浜町、会社員、向井賢太さん（29）は「住んでいて水不足は感じないが、飲水関係は（水不足になる）大変だと聞いたこともある。難しい問題」と話した。（熊本開平）

大勢の人でにぎわった特設会場

—川棚町

- 7 松本好央さんが、若者グループが制作した石木ダム問題の動画上映のイベントで話をしたことを伝える2016年11月20日付け長崎新聞の記事（写真の右端が好央さん、記事中には好央さんのコメントも掲載されている）



- 8 映画「ほたるの川のまもりびと」の各地の上映会で話をする松本好央さん①



8 映画「ほたるの川のまもりびと」の各地の上映会で話をする松本好央さん②



- 9 田植えや稲刈り体験で石木ダム問題を考えてもらうイベント①（記事中には好央さんが田植えを指導したことが掲載されている）



9 田植えや稲刈り体験で石木ダム問題を考えてもらイベント②



10 地元の虚空蔵山登山で石木ダム問題を考えてもらうイベント



12 著名な歌手の加藤登紀子さんが現地を訪れ、地元住民と交流し、石木ダム問題の討論会とコンサートを行った（好央さんはスタッフとして関わった）



13 川原のダム予定地に立つダム反対のでっかい看板の数々①



13 川原のダム予定地に立つダム反対のでっかい看板の数々②



13 川原のダム予定地に立つダム反対のでっかい看板の数々③



13 川原のダム予定地に立つダム反対のでっかい看板の数々④



以 上